

始まります

新型コロナウイルスワクチンの接種

4月以降に、65歳以上の高齢者から順次、

新型コロナウイルスワクチンの接種が始まります。

対象者には接種券と予診票が届くので、

内容や注意事項を確認して、申し込みましょう。

新型コロナウイルスワクチンの接種と注意点

4月以降に始まる新型コロナウイルスワクチンの接種は、始

めはファイザー社製のワクチンが使用されます。新型コロナウイルスワクチンは、インフルエンザワクチンよりも発症予防効果が高いといわれています。

ワクチン接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種後7日程度たつてからとされています。免疫の獲得には時間がかかります。接種後も引き続き感染防止対策を徹底しましょう。

ワクチンの接種方法

接種回数・間隔／2回、通常3週間の間隔を空ける

※1回目と2回目のワクチンは同じ種類のを接種する。

投与方法／筋肉内注射

不安や疑問を感じたら相談を

●厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター

☎0120-761770

時間／午前9時～午後9時

●千葉県新型コロナワクチン副反応等専門相談窓口

☎03-6412-9326

時間／24時間

接種の順番と流れ

接種の優先順位

- ①65歳以上の高齢者など
- ②基礎疾患がある人、高齢者施設などの従事者
- ③それ以外の人

接種までの流れ

- ①対象者に接種券と予診票が届く
 - ↓
 - ②接種券に同封のはがきか、案内通知に記載のコールセンターで、接種の申し込みをする
 - ↓
 - ③日時と会場が記載された予約票が届く
 - ↓
 - ④日程が合わない人は、コールセンターで日程変更をする
 - ↓
 - ⑤予約票などを持って、指定の日程で接種する
 - ↓
 - ⑥接種後に、2回目の接種予約票を会場で受け取る
- ※2回目の接種日の変更は、④と同じ

持ち物／接種券、予診票、予約票、本人確認書類(運転免許証や健康保険証など)

接種量／0.3ミリリットル
費用／無料

副反応

ワクチン接種後は、体が免疫をつける反応を起こす、副反応が出る可能性があります。厚生労働省の発表によると、ファイザー社製のワクチンの国内治験では、2回接種後に、接種した場所の痛みが約80%、37・5度以上の発熱が約33%、疲労・倦怠感が約60%の人に確認されて

います。ワクチンの成分に対する急性のアレルギ―反応である、アナフィラキシーショックの発生は、アメリカで100万人に5人程度と報告されています。

注意点

次の点に当てはまる人は注意が必要です。必ずかかりつけ医に相談し、接種するかどうか判断しましょう。

- 通院している人
- 抗凝固療法を受けている人

- 過去に免疫不全の診断を受けた人
- 近親者に先天性免疫不全の人がある人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 妊娠中または、妊娠している可能性がある人

問い合わせ先

健康管理課予防班

☎63・8766